

変額個人年金保険

特別勘定の月次運用実績レポート

2026 年 7 月度

<目次>

1. 特別勘定の種類	1	ページ
2. 特別勘定の運用実績・状況	1	ページ
3. 運用環境の主な状況	2	ページ
4. [参考情報]投資信託の運用実績・状況	3-5	ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項	6	ページ

〈お知らせ〉
特別勘定の運用関係費の引下げおよび運用収益の向上を目的として、2026年7月以降に投資信託を以下の通り変更いたします。特別勘定の運用方針の変更はありません。
特別勘定: グローバル株式型
投資信託: 「グローバル成長株ファンド」から「アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション」および「セレクション・ジャパン・エクイティ」へ変更
特別勘定の運用関係費: 1.2100%程度から0.51155%程度へ変更

[引受保険会社]



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-911-999
月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00
(日・祝日および12月30日～1月4日を除く)
www.axa.co.jp

当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。
当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の種類

特別勘定 [ファンド]名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
グローバル 株式型	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。	セレクション・ジャパン・ エクイティ アクサ・グローバル・ エクイティ・セレクション	アーキタス・ マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド
グローバル 債券型	主に世界各国の公社債などに分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。	アクサ・ グローバル・ボンド	

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

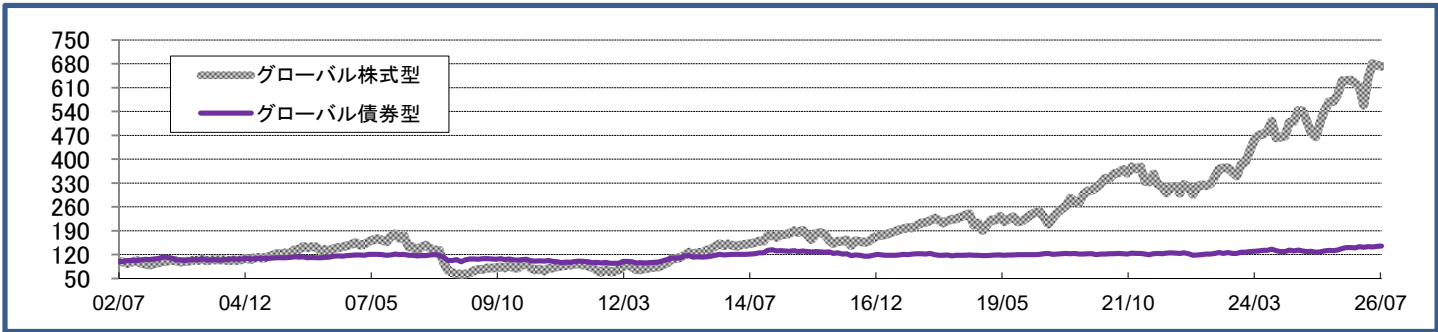
※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

特別勘定の運用実績・状況

(2026年7月末現在)

特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定名	ユニット・プライス 2026年7月末	騰落率(%)					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
グローバル株式型	672.55	△ 0.61	5.14	7.73	18.28	79.64	572.55
グローバル債券型	145.08	0.75	1.41	4.00	9.64	17.16	45.08

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。

特別勘定資産の内訳 千円単位

	グローバル株式型		グローバル債券型	
	金額	%	金額	%
現預金・その他	327,090	4.4	45,286	4.4
その他有価証券	7,041,306	95.6	982,489	95.6
合計	7,368,397	100.0	1,027,776	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

運用環境の主な状況

(2026年7月末現在)

■ 日本株式市場

TOPIX(東証株価指数)は前月末比+0.21%の4003.30ポイントとなりました。7月の日本株式市場は、米国ハイテク株安や韓国株安の影響を受け、AI(人工知能)・半導体関連銘柄を中心に売られる展開となりました。日経平均株価は下落し4か月ぶりの反落となりましたが、TOPIXはほぼ横ばいで推移し、市場全体としては底堅さも見られました。中東情勢の緊迫化も重荷となりましたが、国内企業の業績自体は堅調に推移しており、市場の下支え要因となりました。

日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場では、NYダウ工業株30種が前月末比+0.32%の52,485.03ドルとなりました。7月の米国株式市場は、力強い第2四半期決算を追い風にダウ平均が上昇した一方、AI関連の巨額投資への懐疑的な見方が広がり、ハイテク株中心のナスダック総合は下落しました。資金は主力ハイテク株から、エネルギーや金融などのセクターや中小型株へと分散する動きが見られました。

欧州株式市場では、独DAX指数が前月末+2.53%、仏CAC40指数が前月末比+1.26%となりました。7月の欧州株式市場は、好調な企業決算を追い風に上昇しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やAI関連投資の持続性への懸念が重荷となる場面がありましたが、堅調な企業業績が下支えし、市場全体は底堅さを維持しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は上昇しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には2.805%となりました(前月末2.683%)。7月の日本債券市場は、日銀が7月の会合で政策金利の据え置きを決定したものの、追加利上げ観測から金利は上昇しました。中東情勢の緊迫化に伴う原油高が物価の上振れリスクとして意識されたことも、金利上昇の一因となりました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、米10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には4.735%となりました(前月末4.465%)。7月の米国債券市場は、金利上昇が続く展開となりました。FRB(連邦準備制度理事会)はFOMC(連邦公開市場委員会)で政策金利を5会合連続で3.50~3.75%に据え置いたものの、FOMCメンバーの数名が利上げを主張するなど意見が分かれ、9月利上げ観測が強まりました。中東情勢の緊迫化に伴う原油の高騰によるインフレ圧力も金利上昇を後押ししました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には3.206%となりました(前月末2.860%)。2026年7月の欧州債券市場は、中東情勢の緊迫化を背景とした原油高への警戒から、金利が上昇する展開となりました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比-1.67円の160.72円となりました。7月の米ドル/円相場は、月初から中旬にかけてFRBのインフレ抑制姿勢を受け米ドル高・円安が進行しました。しかし月末には日米当局による円買い協調介入が実施され、一転して円高となりました。

ユーロ/円相場は前月末比-0.23円の185.12円となりました。7月のユーロ/円相場は、ECB(欧州中央銀行)が会合で政策金利を据え置きつつも、インフレ懸念を背景に次回会合での利上げを示唆したことはユーロ買い要因となりましたが、月末に実施された日米当局による米ドル売り・円買いの協調介入の効果がそれを上回り、対ユーロでも円高が進む結果となりました。

グローバル株式型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

セクション・ジャパン・エクイティ
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Selection Japan Equity Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。(委託会社は本ファンドの運用について野村アセットマネジメントを副投資マネージャーに任命しました。)

*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額	■ 設定日	■ 基準価額騰落率 表示桁数未満四捨五入					
1,767.00 億円	2021年4月21日	%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年
■ ベンチマーク		基準価額	△ 2.33	10.33	19.33	47.95	87.79
なし		設定来	124.36				

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄			銘柄数:	85	■ 株式組入上位5業種(%)		
	銘柄	%					
1	SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	6.53			1	資本財・サービス	24.54
2	SOMPO HOLDINGS INC	3.37			2	一般消費財・サービス	20.83
3	SONY GROUP CORP	3.29			3	金融	20.77
4	mitsui & co ltd	3.29			4	情報技術	17.38
5	ADVANTEST CORP	3.25			5	素材	5.24
6	TOYOTA MOTOR CORP	3.00					
7	RECRUIT HOLDINGS CO LTD	2.96					
8	TOKYO ELECTRON LTD	2.84					
9	SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES	2.48					
10	ORIX CORP	2.41					

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

3

グローバル株式型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

AXA Global Equity Selection Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、主に先進国(日本除く)の規制された市場に籍を置く株式、上場株式、取引価格がある株式、または流通株式に投資することにより、分散を図ったポートフォリオのアクティブ運用による長期的な元本の増大を目的として運用を行います。中長期でインデックスを超える運用成果を追求します。なお、原則として純資産価額の40%程度については同インデックスの動きに連動した投資成果をめざして運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてJPモルガンアセットマネジメント(UK)リミテッドおよびDWSインターナショナルGmbHを副投資マネージャーに任命しました。)

■ 純資産総額

5,070.00 億円

■ 設定日

2024年8月7日

■ ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス(円ベース・税引後配当込み)

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率

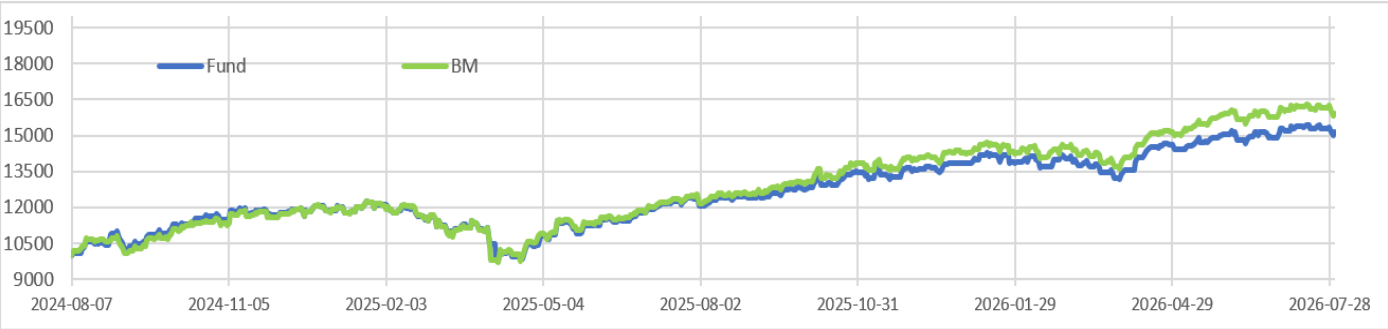
表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△1.07	5.02	8.79	21.38	-	51.34
BM	△1.56	5.93	11.20	26.69	-	59.01
差異	0.49	△0.91	△2.41	△5.32	-	△7.67

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄					銘柄数 : 1,119	■ 株式組入上位5カ国(%)		
	銘柄	国名	業種	%				
1	NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	6.72	1	アメリカ	73.53	
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.93	2	イギリス	4.63	
3	APPLE INC	アメリカ	情報技術	4.54	3	フランス	2.94	
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.45	4	オランダ	2.63	
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.63	5	ドイツ	2.25	
6	MASTERCARD INC - A	アメリカ	金融	2.40	■ 株式組入上位5業種(%)			
7	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	2.03	1	情報技術	30.90	
8	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	2.02	2	金融	16.59	
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	ヘルスケア	1.94	3	一般消費財・サービス	12.30	
10	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.66	4	資本財・サービス	9.57	
					5	ヘルスケア	9.53	

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5カ国」「株式組入上位5業種」はマスターファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

グローバル債券型

[ご参考 投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

アクサ・グローバル・ボンド

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

AXA Global Bond Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)に分散投資を行うことで、キャピタルリターンとインカムリターンの両面から、中長期的なトータルリターンの提供を目指した運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてコルチェスター・グローバル・インベスターズ・リミテッドを副投資マネージャーに任命しました。)

*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

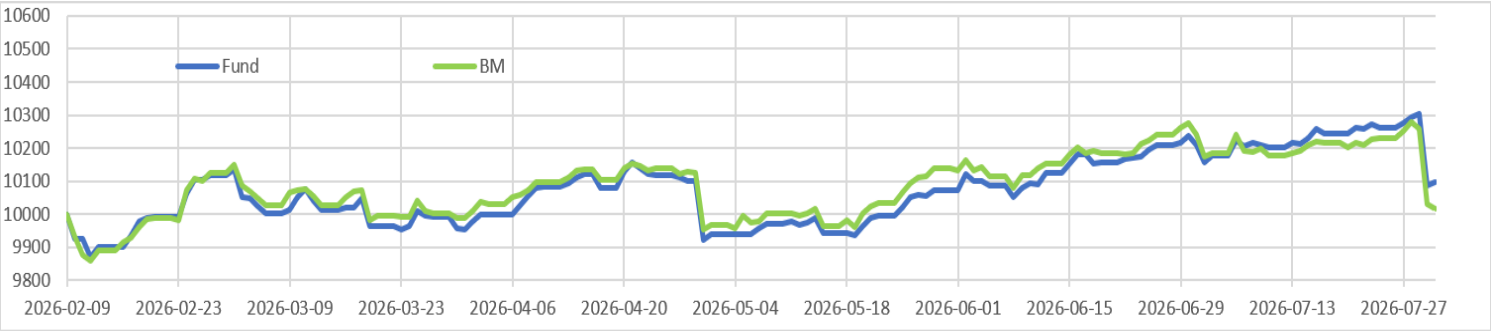
■ 純資産総額	■ 設定日	■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入						
688.00 億円	2026年2月9日	%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
■ ベンチマーク		基準価額	△1.38	1.75	-	-	-	0.97
FTSE世界国債インデックス(円ベース)		BM	△2.52	0.65	-	-	-	0.17
		差異	1.14	1.09	-	-	-	0.80

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数: 90

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B - 4% 29 Feb 2028	アメリカ	3.83
2	US TREASURY N/B - 4.875% 31 Oct 2028	アメリカ	3.64
3	POLAND GOVERNMENT BOND - 2% 25 Aug 2036	ポーランド	3.40
4	US TREASURY N/B - 4.125% 31 Jul 2031	アメリカ	3.10
5	MEX BONOS DESARR FIX RT - 7.75% 23 Nov 2034	メキシコ	2.68
6	US TREASURY N/B - 4.125% 28 Feb 2027	アメリカ	2.67

■ 債券組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	22.97
2	メキシコ	11.62
3	ニュージーランド	9.67
4	オーストラリア	7.43
5	インドネシア	6.61

■ 格付別構成比率(%)

AAA	25.80
AA	26.70
A	5.69
BBB	14.09
BB or Lower	0.00
Not Rated	25.39

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項



投資リスクについて

当保険商品の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。



元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。



諸費用について

項目	目的	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	保険契約の締結、維持および管理等に必要な費用(死亡給付金、災害死亡給付金を支払うための費用を含みます。)	特別勘定の資産総額に対して年率1.6%	据置(運用)期間中、特別勘定の資産総額に対して年率/365日を積立金から毎日控除します。
資産運用関係費 ^{*1}	特別勘定の管理・運用にかかる費用(特別勘定の運用対象となる投資信託の信託報酬等を含みます。)	グローバル株式型 年率0.51155%程度 グローバル債券型 年率0.4500%程度	据置(運用)期間中、各特別勘定の運用対象となる投資信託において、信託財産に対し左記の率を乗じた金額が、信託報酬として毎日控除されます。
契約管理費	基本保険金額が100万円未満のご契約に対し、保険契約の維持、管理に必要な費用	毎月500円	ご契約時は一時払保険料から、以降の据置(運用)期間中は月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
解約控除	解約または減額するときに必要な費用	積立金額に対して10%~1%(経過年数に応じ)	解約時に積立金(減額時は減額に相当する積立金)から控除します。
年金管理費 ^{*2}	年金の支払・管理等に必要な費用	支払年金額に対して1%	年金支払開始日以降、年金支払日に控除します。

^{*1} 資産運用関係費は将来変更されることがあります。

^{*2} 年金支払特約、年金支払移行特約によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。



その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。